

補正の弾力的な執行要望へ

建コン協

建設コンサルタンツ協会（建コン協、廣谷彰彦会長）は、国交省や地方公共団体に2008年度補正予算の機動的、弾力的な執行を求める「社会的な執行を求める」資本の計画的整備と品質確保のための要望書」をまとめた。近日中にも国土交通省を訪問して金子一義大臣に要望書を手渡す。また地方支部に、要望書を積極的に活用した地方公共団体への要望活動を求めていく考え。廣

谷会長が18日の会見で明らかにした。

廣谷会長は、08年度に国交省の8地方整備局が契約した土木コンサル業務の契約額が、前年の8割にも満たない状況であることを指摘。「社会資本整備を円滑に進めていくための設計ストックと、その担い手となる優秀な技術者の育成が必要だ」として、「地域の活性化のためには、基本となる計画・調査・設計などを計画的かつ着実に進める必要がある」との認

識を示した。

その上で、成果品の品質確保対策にも触れ、「会員企業から直轄事業の総

合評価方式の情報を入手。技術評価の内容などを分析して、09年6月に予定している国交省地方整備局との意見交換会までに改善要望と提案をまとめた」と述べた。